

Course number		G-LAS00 80001 LJ20					
Course title (and course title in English)	研究倫理・研究公正（理工系） Research Ethics and Integrity(Science and Technology)				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Professor,SUGIYAMA MASAHIRO Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Professor,OOSHIMA MASAHIRO Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Professor,YODEN SHIGEO Graduate School of Engineering Professor,KAWAKAMI YOUICHI Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,EGAWA TATSURO Graduate School of Engineering Senior Lecturer,KOJIMA HIROYUKI Graduate School of Engineering Senior Lecturer,HAYASHI KAZUKI Graduate School of Science Assistant Professor,KIKUCHI KATSUHIKO	
Group	Common Graduate Courses			Field(Classification)	Social Responsibility and Profitability		
Language of instruction	Japanese			Old group		Number of credits	0.5
Hours	7.5	Class style	Lecture (Media-based course)		Year/semesters	2025・Intensive, First semester	
Days and periods	Intensive 6/7 2-4periods, 6/14, 21 1-4periods	Target year	Graduate students		Eligible students	For science students	
[Overview and purpose of the course]							
<p>研究をこれから始める大学院生に、責任ある行動をする研究者として身につけておくべき心構えを講述する。研究者としての規範を保っていかに研究を進めるか、また研究成果の適切な発表方法など、研究倫理・研究公正についてさまざまな例を示しながら、科学研究における不正行為がいかに健全な科学の発展の妨げになるか、またデータの正しい取扱いや誠実な研究態度、発表の仕方が、自らの立場を守るためにもいかに重要かを講義する。さらに、研究費の適切な使用と知的財産や利益相反について学ぶ。講義に続いてグループワークを行い、与えられた仮想課題を自らの問題として考え、解決方法のディスカッションを行う。</p> <p>第1講～第3講は、6月7日（土）にZoomによるオンライン同時双方向授業の方式で実施し、第4講のグループワークも、Zoomによるオンライン同時双方向授業の方式で、6月14日（土）・21日（土）に実施する。</p>							
[Course objectives]							
<p>第1講～第4講を通じて、研究者としての責任ある行動とは何かを修得する。科学研究における不正行為の事例学習、討論を通じて、誠実な研究活動を遂行する研究者の心得を身につけ、最後に「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」を受講し、理解度を確認する。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>第1講 科学研究における心構え - 研究者の責任ある行動とは -</p> <p>1．研究者の責任ある行動とは（学術活動に参加する者としての義務）</p> <p>2．不正の可能性と対応</p> <p>3．安全対策と環境への配慮</p> <p>4．データの収集と管理 - 実験データの正しい取扱い方 -</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 研究倫理・研究公正（理工系）(2)</div>							

研究倫理・研究公正（理工系）(2)

- 5. 科学上の間違いと手抜き行為の戒め
- 6. 誠実な研究活動中の間違いとの区別
- 7. 科学研究における不正行為

第2講 研究成果を発表する際の研究倫理・公正

- 1. 研究成果の共有
- 2. 論文発表の方法とプロセス
- 3. 科学研究における不正行為（典型的な不正）
- 4. データの取扱い（データの保存・公開・機密）
- 5. その他の逸脱行為（好ましくない研究行為）
- 6. 研究不正事件（シェーン捏造事件）
- 7. 不適切な発表方法（オーサiership、二重投稿）

第3講 知的財産と研究費の適正使用

- 1. 知的財産の考え方（知的財産の保護と活用）
- 2. 研究資金と契約
- 3. 利益相反（利害の衝突と回避）
- 4. 公的研究費の適切な取扱い
- 5. 研究者・研究機関へのペナルティー
- 6. 事例紹介（ビデオ）
- 7. 結語

第4講 グループワーク

- 1. 例示された課題の一つについてグループ・ディスカッションと発表・討論

第5講 e-ラーニング

- 1. 「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」の受講

[Course requirements]

外国人留学生については、同時期に開講する英語科目、あるいは後期に開講する英語科目の履修を推奨します。

For international students, it is recommended that they take an English course offered at the same time or in the second semester.

[Evaluation methods and policy]

第1～4講の全てへの出席と参加の状況、ならびに「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」の修了を確認の上、成績評価を行う。成績評価は、可否の判定による。

eラーニングコースについては、「日本学術振興会」が実施するものを受講すること。
「公正研究推進協会（APRIN）」が実施する「eAPRIN」は修了要件として認めない。

[Textbooks]

日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会『科学の健全な発展のために - 誠実な科学者の心得 - 』（丸善出版）ISBN:978-4621089149（学術振興会のHP（<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf>）より、テキスト版をダウンロード可能）

研究倫理・研究公正（理工系）(3)

[References, etc.]

（References, etc.）

米国科学アカデミー 編、池内 了 訳 『科学者をめざす君たちへ 研究者の責任ある行動とは』（化学同人）ISBN:978-4759814286

眞嶋俊造、奥田太郎、河野哲也編著 『人文・社会科学のための研究倫理ガイドブック』（慶応義塾大学出版会）ISBN:978-4766422559

神里彩子、武藤香織編 『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』（東京大学出版会）ISBN:978-4130624138

野島高彦著 『誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方』（化学同人）ISBN:978-4759819335

須田桃子著 『捏造の科学者 STAP細胞事件』（文藝春秋）ISBN:978-4163901916

[Study outside of class (preparation and review)]

日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」の受講

[Other information (office hours, etc.)]

第1～3講は6月7日（土）2, 3, 4限に行う。第4講のグループワークはA・Bセッションごとに6組に分けて、講義の翌週（同月14日）または翌々週（同月21日）の土曜日1・2限または3・4限に実施する。講義、グループワークともにオンラインでの実施を予定している。セッション・組分けについては、履修登録確定後に各人にKULASISを介してメールで連絡するので、いずれの日時になってもよいよう予定を空けておくこと。

また、授業の前に、「日本学術振興会：研究倫理eラーニングコース」への団体申し込みを行う（受講生に費用はかからない）。これについての詳細は、別途、履修者に連絡する。